

試験研究（事後）評価整理表

試験研究機関名 環境医学研究所
 所 管 課 業務課

整理番号	施策目録等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究期間・終期		評価結果	理由	外部評価アドバイザー意見
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
1	3-2- 新しい産業の育成(医療・福祉関連産業の振興)	医療福祉関係産業の振興	種々な疾患における人血清ヒアルロニダーズ)活性の意義	人血清ヒアルロニダーズ活性の測定例数を蓄積し、医療現場に技術移転が可能となるよう、細部の方法に修正を加えながら、人血清中のヒアルロニダーズ活性レベルの凡その範囲を確認し、異常値を示す症例の発見とその病態との関係を解析する。	病院検査室での検査終了後の保存人血清の供給をうけ、36検体/週を目標として電気泳動を行い、染色後の画像からヒアルロニダーズ活性を求め、例数の蓄積をとりあえずの目標とし、そのなかから本群活性の異常値と病態との関係の有無を臨床医の協力を得て検討する。	16	19	B	協力病院での臨床への浸透が出来なかった。	病院の協力体制の限界から臨床現場への技術移転が出来なかったと考える。
2	2-3- ライフステージや疾病に応じた保健予防対策の充実	難病対策	骨髄不全症候群の病態解明	骨髄不全症候群は、前白血病状態として位置づけられており、その発症には何らかの免疫学的機序および発癌機序が関与していると思われるので検討する。	1 骨髄不全症候群の免疫学的機序の解明 2 骨髄不全症候群の発癌メカニズムの解明	15	19	B	現在の研究体制の下においては、目的を十分に達成したと判断されるが、上記の問題点を改善して頂ければ、今後Aの評価へ移行する事は可能である。	現研究体制の中で可能な範囲の成果となっている。

試験研究（事後）評価整理表